

# 河川

河川事業(10水系:新宮川水系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、加古川水系、揖保川水系、円山川水系、由良川水系、北川水系、九頭竜川水系)

建設ダム事業(4箇所:大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発、足羽川ダム、九頭竜川上流ダム再生)

地すべり対策事業(1箇所:亀の瀬地区)

砂防事業(4箇所:六甲山系、木津川水系、九頭竜川水系、紀伊山系)

海岸事業(1箇所:東播海岸)

## 国民の安全・安心の確保

## 治水対策～災害防止のための水害・土砂災害対策を重点的に実施～

近年大きな災害があった地域において、緊急的な対策を実施することで再度災害を防止します。また、事前の防災対策を加速し、地域の安全・安心を確保します。

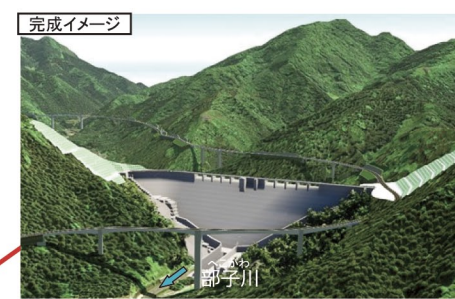
### ■円山川遊水地事業



### ■由良川緊急治水対策



### ■足羽川ダム建設事業



### ■桂川治水対策



### ■加古川中流部緊急治水対策



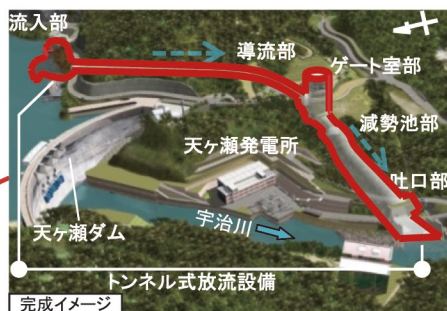
### ■阪神なんば線淀川橋梁改築事業



### ■大和川中流域強靱化事業



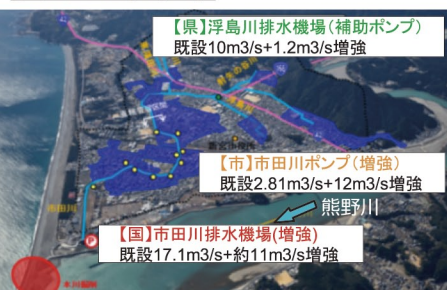
### ■天ヶ瀬ダム再開発事業



### ■名張かわまちづくり一体型浸水対策事業



### ■市田川流域大規模浸水対策事業



## 流域治水の推進

気候変動の影響による災害の頻発化・激甚化に対応するため、抜本的な治水対策として、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、あらゆる関係者と協働して、ハード・ソフトの両面から「流域治水」を推進していきます。



### ■被害対象を減少させるための対策



### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



## 持続的な経済成長の実現

### 豊かで多様な自然環境の保全・再生

河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境等の保全・再生を推進します。湿地整備のための掘削土砂を堤防拡築に活用するなど、良好な河川環境と安全・安心の確保の両立を図ります。



### 住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト

平成30年7月豪雨の被災を踏まえ、国や自治体が発信する水害・土砂災害等のハザード・リスク情報が住民自らの避難行動に結びつくよう、メディア関係者と連携し、情報提供・共有方法の充実を図ります。



### 観光を通じた地域振興に資するインフラ活用の取組

普段入れない場所に入って、土木の役割の理解と親しみを一層深めるため、民間会社によるツアー等と連携しながら、ダム等のインフラを観光資源として活用するインフラツアーを開催しています。

